

過去の人材育成事業について

1 過去の経過

平成 23 年から延べ 29 名を支援し、14 名が就職・独立した。一方で、15 名が道半ばで退職している。

2 退職理由

主な退職理由は、「職場でのコミュニケーションに起因するトラブル」「ミスマッチ（思い描いていたものと違った）」「体力不足」などとなっている。

3 今後の対応

(1) 適性について

鍛冶職人として継続して勤務し、成長し続けるためには、他社と良好な関係を築けるコミュニケーション能力や体力などが必要であり、志望者の適性を見極めるとともに適切な指導を行うことが重要ではないか。

(2) ミスマッチについて

「鍛冶職人」というイメージだけで志す志望者も多く、ミスマッチが生じてしまっている。鍛冶職人に求められる知識や技術について、事業所に就業する前に学ぶ期間が必要ではないか。